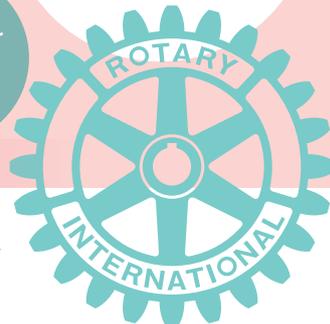


国際ロータリー第 2530 地区 郡山アーバンロータリークラブ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 鈴木 邦典
会長 佐藤 功一
幹事 鈴木かおる



ロータリー:
変化をもたらす



第 27 回例会 H.30.1.31 (水) ☀

- ▶開会点鐘 ▶ロータリーソング「我らの生業」 ▶四つのテスト唱和 采女真弓さん
- ▶ゲスト 佐久間喜重様 (保護司) / 齋藤年光様 (福島県赤十字血液センター)

会長挨拶

佐藤 功一 会長

1月28日(日)の本名徹次さんを囲む会に出席してまいりました。本名さんがベトナム国立交響楽団の指揮者となられたのは、名古屋交響楽団のベトナム公演の時に、5年かけて世界に通用するような楽団にして欲しいと声をかけられたことだったそうです。平成13年にベトナム国立交響楽団の指揮者、21年にはマネジメントを含めて全ての権限を持つ音楽監督兼首席指揮者となりました。

郡山アーバンRCでは2010年の鈴木尚子会長年度、橋本会長年度、宮崎会長年度に楽譜寄贈を行い、安中会長年度にはニューヨークでの初めてのアメリカ公演の時に支援金を贈りました。楽団の運営はかなり厳しいそうですが、年間30回以上の公演を目標としているそうです。

郡山でのふれあいコンサートの司会は檀ふみさんと、その後の囲む会では鈴木尚子さんと一緒に、美しいお姿を間近に見せていただきました。

献血へのご協力をお願い

福島県赤十字血液センター 推進課長 齋藤年光様



日頃は献血に対しましてご理解とご協力をいただきありがとうございます。双葉郡は東日本大震災以前に献血の約10%をいただいておりますが、まだ献血バスが行くことはできません。郡山は佐久間さんはじめ皆様のご協力により献血が盛んですが、まだまだ頑張らなくてはならない状況です。少子高齢化により血液不足も言われております。皆様のお力添えをいただきたく、これからもよろしく願いいたします。

出席報告

小林悦子 副委員長



総員 36名
出席率 30.56%
前回修正率 41.67%

スマイルBOX報告

津野順子 副委員長

- ☺佐藤 功一▶佐久間喜重様、卓話よろしくお祈りします。
- ☺鈴木かおる▶佐久間様、卓話ありがとうございます。
- ☺蔭山 寿一▶佐久間様、今日はよろしくお祈りします。
- ☺大山三起雄 ☺津野順子 ☺増子ふみえ ☺佐藤洋子

幹事報告

鈴木かおる 幹事

- ①2月24日(土)・25日(日)のライラ研修会のご案内が再度来ています。年に1度の研修会ですので多くのご参加をお願いします。
- ②RI日本事務局からロータリー財団の資料を回覧します。

プログラム/ゲスト卓話

ゲスト紹介

蔭山寿一 会員増強委員長

佐久間喜重さんは、有限会社サンサンの社長さんであり、一般社団法人福島県医薬品配置協会の会長、中小企業家同友会郡山地区の副会長、福島県郡山北警察署防犯指導隊の隊長、郡山市保護司会の研修部長、郡山地区薬物乱用防止指導委員協議会の理事、福島県献血推進協議会の理事、福島県くすりの週間実行委員会の理事、郡山市富久山町久保田我妻町内会の会長、福島県立あぶくま支援学校教育活動後援会の会長など、様々な方面で奉仕活動をされています。



保護司 佐久間善重様
「ボランティアについて」

三春町で10人兄弟の末っ子として生まれました。兄弟の5人が健在です。いろいろなボランティアをしています。

仕事はベニマルに入社しましたが、冷房で座骨神経痛になり2年で辞め、置き薬の会社に10年お世話になりました。子供が小学校に入る時に、今後を考えて30才で郡山に戻って3人で会社を始め、2年後に独立しました。

3人の子供が入学した薫小学校のPTAでは、必ず役員になる



プログラム／ゲスト卓話

ことになっておりました。会社を立ち上げたばかりで大変で、人のお世話などできるかと思いましたが、引き受けた以上はやらなければならないと思いました。今考えてみると、この最初のボランティアを引き受けたお陰で、常に感謝を忘れないでいられるようになったと思います。お世話になっていること肌で感じる毎日でした。薫小学校、郡山第一中学校、郡山北工業高校のPTA会長もさせていただきました。いろいろな方のご協力に感謝し、何かの機会があれば恩返しをしたいと思って行動しております。2番目の息子は蔭山さんの会社に20年以上お世話になっておりますので、今日のご依頼を絶対に断ることはできないと、喜んで引き受けさせていただきました。

献血ボランティアを37～8年行っていることで、昨年、全国善行賞をいただきました。そして県置き薬協会会長として厚生労働大臣賞をいただきました。後輩に道を開けるものと思い、うれしくいただいてきました。

いろいろなボランティアをさせていただいており、保護司となって23年目です。少年院に送られるような子供達に、どのように接していくかを考えてきて、これまで60人ほどを担当しました。その中には再び犯罪をして刑務所に送られた子もいます。手紙をやりとりして、富山まで会いに行ったこともあります。社会に戻って来た子の更生のために、各種の手続きや職場を探したりもしています。まじめに更生させるために、しょっちゅう携帯に電話をします。連絡が来る前に、こちらから信号を送るようにしなければ、なかなか更正は難しいと思います。

保護司になって一番うれしかったことは、これまで2回、結婚式に招待されたことです。席は上座に用意されていて、まさか保護司だとは言えませんでした。夜中までご馳走になりました。対象者は家族にも言いたいことを言えない環境にいます。私は嘘だけはつかないで欲しいと話し、一緒に食事をするなど、できるだけ心を開いてくれるように努力しています。

皆さんに献血のチラシとカードとともにお配りしたプチ袋は、あぶくま養護学校に牛乳パックを持って行って作ってもらったものです。今日のために昨日出来上がったばかりの袋を買ってきました。お祝いなどに使っていたきたいと思います。

小さいサイズのものもありますが、このサイズはお札や商品券も入れられて便利です。

1月に知事公舎に招待され、知事に差し上げた時の写真をあぶくま養護学校の校長室に飾ってあります。あぶくま養護学校には、小学1年生から高校3年生までの300人ほどの生徒さんがいます。16年前に中小企業の雇用の関係で全国大会に携わったことからつながりができ、事業主の方々に学校に連れて行って雇用環境を整えるようお願いしています。保護司の対象者も連れて行っています。五体満足でありながら犯罪をしてしまったことを反省して、涙を流す子もいます。いろいろなボランティアをしてきたことにより、そのつながりを生かすこともできることと思っ



ております。36年前には郡山は献血ファーストワンでした。なんとかしようと、陰山建設で献血活動を行いました。最初は53人でしたが、1500人規模の日本一の活動になっています。ハートフル、中小企業家

同友会、富久山商工会、郡山北警察署、郡山北工業高校、あぶくま支援学校などでも定期的に献血を行っており、活動が定着しています。16～69才の健康な方が献血できます。駅前の献血ルームが移動して、ダイワロイネットホテルの3階になりました。土日は良いのですが、平日は人が少ないようです。郡山駅前献血ルームを支援する会を作り、献血協力カードを持って献血に行こうという動きを考えております。

私はこれまで72回の献血をしました。69才までに80回を達成したいと思っています。67才で献血ができることを幸せだと思い、自己管理と親に感謝しております。12ほどのボランティアを行い、毎日なにかをしている中で仕事をしています。

18年前にブラジルに行ってみたくて、サンパウロのアガリクスの農場視察のために、大阪の予防医学の博士とともに2週間行きました。倫理法人会に来られた先生から、バヌアツが世界一幸せな国だと聞いて、先生にお願いして10日ほど行ってきました。食べ物が豊富で争いがなく、確かに幸せな国だと思いました。シンガポールでは屋上にプールのある高層ホテルに行きました。

好奇心旺盛で、とにかく楽しくいろいろなことをやっております。町内会長なども引き受けた以上は、町内の方も住んで良かったと思えるようなきれいな町内にしようと、皆さんに協力していただいで楽しい町内会の運営をしていただいております。皆様とのつながりを大切に、これからも続けたいと思います。健康に注意していただいて、皆様はじめご家族、お知り合いの方々の献血へのご協力をお願いしたいと思います。

献血のお願い

献血のお願いは、無償の奉仕行為です。献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。

献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。

献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。

献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。献血は、健康な方から健康な方へ、血液を分け与える行為です。

ロータリー財団寄付者

■ 佐藤功一

米山記念奨学会寄付者

■ 津野順子 ■ 蔭山寿一 ■ 佐藤功一 ■ 白岩邦俊
■ 大山三起雄 ■ 増子ふみえ

ポリオ寄付者

■ 蔭山寿一

閉会点鐘